

ハケで塗れる亜鉛めっきで 補修をより簡単に



海外
発注可
オンリー
ワン技術
メイトイン
ジャパン

業務内容
建設業界や産業界、
インフラのさび止めで活躍

一斗缶や少容量の缶、スプレータイプなどがある

田中社長は「電気化学的にさびを防ぐという作用においては亜鉛めっきと同じだが、めっきとは別物」と語る。では、なぜ亜鉛めっきと称されるのか。理由は亜鉛めっきと同等のさび止め効果を持つ点と、塗料に含まれる亜鉛含有率にある。乾燥塗膜中の亜鉛含有率は96%もある。比重1以下のシンナーと比重7・1の重い亜鉛を容易に攪拌して塗装時に均一分散させるのは極めて難しく、亜鉛と水分の反応を抑制する技術も高度なノウハウ。

強み
亜鉛含有率96%を
可能にした特殊技術

一般的なさび止め塗料が中塗りや上塗りをするのに対し、ローバルは基本的に上塗りする必要はない。効果も約3倍の10〜20年だ。



素人でも簡単に塗れる

田中社長は「実際、まねをしようとして完成できなかった、と同業他社に言われたことがある」と明かす。

市場大
ニーズが高まる
インフラ需要に対応

日本は「インフラの高齢化社会」とも言われる中、高度成長期につくられた社会インフラの維持、メンテナンスが重要な課題となっている。コストを考えると、より少ない工期で高い効果が得られる技術が求められるのは必然で、活躍の場は今後さらに大きくなりそうだ。ローバルは近年、建築技術審査証明や国土交通大臣の「特認」など公的認定を取得。さらに、水性ローバルを開発して環境対応を意識するなど、社会インフラを支える企業としての整備を着々と進めている。

今後の展望
さび止め以外の
マーケットユーザーに学ぶ

「我々が想定していなかった使い方、顧客から学んでいる」と田中社長は語る。インターネットなどで、無線やドライブレコーダーのノイズ対策として筐体内部に塗るユーザーがいることがわかってきた。また、配管のさび止めとして購入した洋酒メーカーからは「かび止め塗料を塗っている箇所よりローバルを塗った箇所の方がかび止め効果が高い」との指摘も受けたという。現在同社は、さび止めならぬかび止め効果を公的機関で検証中。さび止め補修の代名詞ともなっているローバルだが、防ぐのはさびだけではない。

COMPANY PROFILE ローバル株式会社

大阪26 ISO 9001 ISO 14001

当社の歴史

創業者である田中徳松が溶融亜鉛めっきメーカーに在籍中、英国製の「ROVAL」に出会い、輸入で取り扱う。その後、さまざまな変遷を経て自社製造に。当初、グレー色のみだったが、ユーザーの要求でシルバー色を開発。以後、エポキシ系や、特殊亜鉛のシルバータイプなど、ラインアップを拡充し続けています。



代表取締役 田中 有さん

ローバルは、素人でも簡単に塗れるプロスペックのさび止め塗料です。

■主な事業内容
特殊さび止め塗料の製造・販売

■主な取引先（納入先）
塗料販売店、建築資材
商社、ホームセンター

住所 / 〒576-0054
交野市幾野
6-41-1
TEL / 072-892-7791
FAX / 072-892-6391
創業 / 昭和30年7月
設立 / 昭和36年1月
資本金 / 1,500万円
従業員 / 23名

<http://www.roval.co.jp/>